

# 複雑さと共に暮らす デザインの挑戦

D. A. ノーマン 著 伊賀聰一郎／岡本明／安村通晃 訳

新曜社 2940円（税込）

シンプルであることは一般に好ましいと考えられている。だが、実世界にもテクノロジーにも複雑さはつきものだ。



複雑でも学習によって使いこなせる道具は楽しいし、シンプルさゆえにかえってユーザーを混乱させる場合も。デザイナーとユーザーの双方が「複雑さ」に責任を持つことで、世の中はもっと暮らしやすくなるのでは？ 前著『未来のモノのデザイン』（2008年）に続く新しい問題提起。